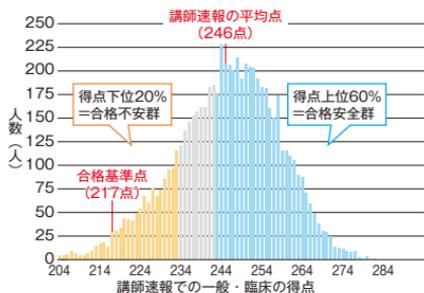


国試合格安全圏の学生とボーダー付近の学生の勉強法の違い

講義動画視聴や過去問演習をどんなペースで進めたらいいんだろう…。そんな疑問にお答えします!!

この記事では「第114回医師国家試験 採点サービス」(講師速報)の結果から、国試で合格安全圏だった人たちと、ボーダー付近~不合格だった人たちが、講義動画視聴や問題演習をどのようなペースで行っていたのかを比較していきたいと思います。

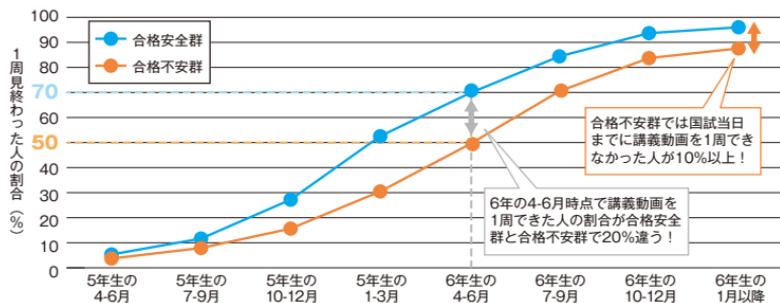


左のヒストグラムが講師速報の新卒全体(約7000人)での一般・臨床の得点分布です。これを得点上位60%(合格安全群)と得点下位20%(合格不安群)に分けて、検証を行います。なお、この記事では講師速報の入力者の中からアンケート回答者(約4000人)を対象に検証しています。

講義動画(メジャー科目)を1周見終わる時期

まずは講義動画(メジャー科目)を1周見終わる時期について見てみましょう。

下図が合格安全群(2084人)と合格不安群(620人)で見終わった時期を示すグラフです。



グラフを見ると、どの時期においても合格安全群は合格不安群と比べて1周見終わった人の割合が大きくなっています。

6年生の4-6月時点では合格安全群では約70%の人がメジャー科目の動画を1周見終わっているのに対し、合格不安群では約50%の人しか見終わっていないのがわかります。

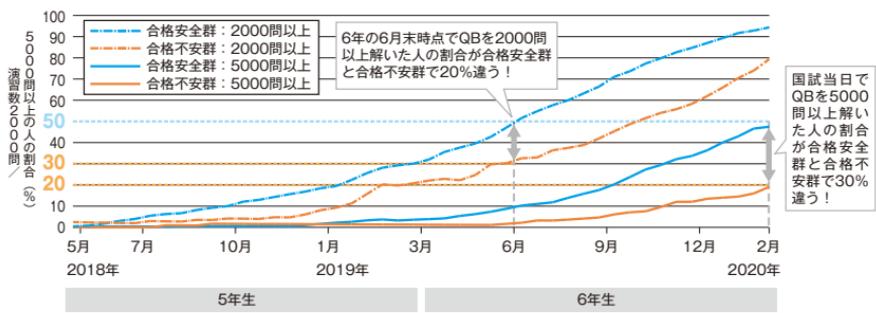
また、合格不安群については10%以上の人メジャー科目の動画を国試当日までに見終わっていないこともわかります。

ここまでで、合格安全群は合格不安群と比較して動画を見終わる時期が早い傾向が見てとれます。

QBオンライン (vol.1-vol.5) の演習ペース

次にQBオンライン (vol.1-vol.5) の演習ペースを見てみましょう。

下図は「講師速報」のアンケートで「過去問演習をQBメインで行った」「書籍は使わずにQBオンラインのみで演習を行った」と回答した人の演習ペースに関するグラフです。演習数が2000問以上(1周目問題数の9割相当)の人の割合、演習数が5000問以上(書籍掲載問題数の9割相当)の人の割合を**合格安全群**(798人)と**合格不安群**(199人)で比較しました。



グラフを見ると、どの期間においても**合格安全群**は**合格不安群**と比べて2000問/5000問以上演習をこなす人の割合が大きくなっています。

6年生の6月末時点では**合格安全群**では約50%の人が2000問を解き終わっているのに対し、**合格不安群**では約30%の人しか2000問を解き終わっていないのがわかります。

また、国試当日までを見ると、**合格安全群**では約50%の人が5000問を解き終えるのに対して、**合格不安群**では約20%の人しか5000問を解き終えていないこともわかります。

QBの演習ペースで見て、**合格安全群**は**合格不安群**より演習のペースが早い傾向があることが見てとれます。

動画視聴を早めに終えて、十分な問題演習時間の確保を!

合格不安群では講義動画を見終わる時期が遅く、それに伴ってQBの演習開始時期が遅くなり、きちんと演習をこなせないまま国試当日を迎えている人が多いと予想できます。

自信をもった状態で国試に臨むためには、国試当日までの見通しをもって、講義動画の視聴・問題演習のペースメイキングを行っていくのが大切になります。今の自分の進捗をこの記事で紹介したデータと比較しながら、計画的に勉強を行っていきましょう。

